

大船渡港

岩手県県土整備部港湾空港課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

☎019-651-3111(代)

URL : <https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kouwankuukou/kouwan/index.html>



1. 概況

〈沿革〉

本港は、本県沿岸南部に位置し、明治14年に軍艦「雷電」の入港により、天然の良港であることが認められ広く紹介された。

昭和5年、内務省指定港湾となり、昭和7年に時局匡救事業、冷害対策として野々田地区において港湾修築に着工、昭和11年に水深-7.3m岸壁1バースが完成した。

一方、これと前後して、背後地への連絡の動脈である国鉄大船渡線が開通し、港勢に大きな影響を与えた。

戦後、昭和23年には大船渡港修築事業計画の策定に伴い、新たに茶屋前地区の整備に着手した。昭和30年に水深-6m岸壁、-4m岸壁が完成した。

昭和32年の東北開発関係法制定以来、本港の重要性は更に増大し、太平洋セメント(株)大船渡工場等の港湾利用が活発化した。

昭和34年、重要港湾に指定され、昭和35年には茶屋前地区に水深-9m岸壁1バースが完成し、港湾機能は一層充実された。

昭和35年5月、チリ地震津波が三陸沿岸を襲い、中でも大船渡市は大災害を被った。即刻、チリ地震津波対策特別措置法が制定され、昭和38年、津波対策事業として湾口防波堤が国直轄事業により着手され、昭和42年、我が国初の深海防波堤が完成した。

昭和43年、茶屋前地区工業団地に木工団地が建設され、昭和45年には永浜地区に木材港が完成、茶屋前地区では、昭和47年に水深-6m岸壁1バース、更に昭和50年には水深-9m岸壁1バースが完成した。また野々田地区では、昭和63年に水深-7.5m岸壁2バースが、平成元年には水深-13m岸壁1バースが完成した。

平成4年、港湾計画が改訂され、永浜・山口地区の公共ふ頭の整備が開始された。

平成19年、韓国釜山との間に岩手県初の外貿国際定期コンテナ航路が開設された。また、平成21年、永浜・山口地区では、国直轄事業の水深-13m岸壁1バースが完成した。

平成23年3月、東日本大震災津波が発生し、津波(湾口)防波堤は壊滅的な被害を受け、太平洋セメント(株)等の民間企業も大きな被害を受けた。

被災後、木材関係の工場は撤退したものの、その他の民間企業では迅速に工場の復旧を進め、港湾施設の復旧とともに、取扱貨物量は急速に回復し、平成25年には震災前の水準に戻った。また、コンテナについては、外貿国際定期コン

テナ航路は休止となったものの、平成25年9月に新たに国際フィーダーコンテナ定期航路が開設された。

平成29年7月、大船渡港を利用するコンテナ貨物の一時保管に利用できる市営コンテナ用上屋倉庫が供用開始した。

令和2年度は、太平洋セメント(株)大船渡工場内において、バイオマス発電所が営業運転を開始し、燃料であるパームヤシ殻(PKS)の輸入が開始したほか、内航コンテナ輸送航路が新たに開設され、取扱貨物量の増加につながっている。また、永浜・山口地区の水深-7.5m岸壁背後のふ頭や工業用地の整備事業が完了した。

〈地勢〉

本港は、岩手県沿岸南部に位置し(北緯39度2分、東経141度43分)、北西に開いた湾口が屈曲し、北向に細長い湾形をなしている大船渡湾の奥部にある。湾口幅約3km、湾央部では約1km、奥行き約6kmの湾となっていることから、湾内は年中静穏である。

〈市勢〉

大船渡市は、面積323km²、人口約32,000人で、就業人口が約18,000人、内訳は第1次産業7.5%、第2次産業28.0%、第3次産業64.5%となっている。

市街中心地が湾奥部にあり、太平洋セメント(株)大船渡工場、(株)阿部長商店などの水産加工場が集中している。また、湾内では、カキ、ホタテなどの養殖漁業が盛んである。

〈特徴〉

湾口部は、三陸復興国立公園地域になっており、自然の造形美である国指定の名勝碁石海岸があり県内外からの観光客が多い。また、碁石海岸は三陸ジオパーク南部を代表するジオサイトの一つでもある。

毎年、日本を代表するクルーズ船が寄港しており、大船渡湾特有の風光明媚な地形や、市民の手作りによる心のこもった歓迎行事などにより、乗船客から高い評価を受けている。

東日本大震災後、三陸沿岸道路の整備などが急速に進められ、交通ネットワークの改善とともに企業の関心が高まりつつあり、物流の増加や企業立地、さらには、観光等の交流人口の増加が期待されている。

〈計画〉

大船渡港の耐震強化岸壁整備については、令和2年2月の岩手県地方港湾審議会において港湾計画を変更し、野々田地区水深-7.5m岸壁1バースを災害時の緊急物資対応施設として位置付けられており、事業化の時期について検討している。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	51	559,802	2	71,676	19	244,352	22	211,864
内航商船	795	1,786,645					63	453,547
自航 その他	6,049	140,596						
合計	6,895	2,487,043	2	71,676	19	244,352	85	665,411

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	4	20,769	4	11,141				
内航商船	215	1,091,024	11	15,356	83	62,811	423	163,907
自航 その他			4	8,129	15	11,641	6,030	120,826
合計	219	1,111,793	19	34,626	98	74,452	6,453	284,733

最大入港船舶のトン数 50,142総トン（喫水 m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	7,960	100.0			7,960	100				
輸入	509,796	100.0			396,828	77.8	112,968	22.2		
計	517,756	100.0			404,788	78.2	112,968	21.8		
移出	1,535,369	100.0			827	0.1	10,060	0.7	543	0.0
移入	550,091	100.0			2,962	0.5	249,385	45.3	841	0.2
計	2,085,460	100.0			3,789	0.2	259,445	12.4	1,384	0.1
合計	2,603,216	100.0			408,577	15.7	372,413	14.3	1,384	0.1

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出										
輸入										
計										
移出	1,513,158	98.6	4,723	0.3			6,032	0.4	26	0.0
移入	59,602	10.8			9,213	1.7	228,088	41.5		
計	1,572,760	75.4	4,723	0.2	9,213	0.4	234,120	11.2	26	0.0
合計	1,572,760	60.4	4,723	0.2	9,213	0.4	234,120	9.0	26	0.0

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出			
輸入			

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	5,120	5,120	0
内国航路	83,747	42,121	41,626
計	88,867	47,241	41,626

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公 共)											
茶屋前地区	-9.0m岸壁	9.0	330	10,000	2						石炭、鉄鉱石、石灰石 コークス
	-6.0m岸壁	6.0	210	2,000	2						石灰石、廃棄物
野々田地区	-7.5m岸壁	7.5	260	5,000	2						窯業品、廃棄物
	-13.0m岸壁	13.0	270	40,000	1						砂利・砂、紙・パルプ
	-4.5m岸壁	4.5	120	1,000	2						
永浜・山口地区	-13.0m岸壁	13.0	290	40,000	1						原木
	-7.5m岸壁	7.5	130	5,000	1						

保管施設 区分	棟数	面積・容量
野積場 (木材、石炭、コークス)	-	154,945m ²
(撤物、雑貨)	-	15,199m ²
(コンテナ)	-	21,463m ²
普通倉庫		
1~3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	93,350m ²

泊地 区分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地	-	-
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港湾関連施設	
名称	延床面積(m ²)
-	-

臨港交通施設	
名称	総延長(m)
臨港道路	7,936
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

野々田地区

埠頭名	-13m岸壁
ターミナル面積	16,811m ²
岸壁延長	210m
水深	13m
荷役機械	ハーバークレーン1基
アウトリーチ	19.7tのコンテナで38m
リーファープラグ	34基
荷役方式	リーチスタッカー方式

5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深(m)	開設年度	関連施設	
	陸域(m ²)	水域(m ²)	防波堤延長(m)	合計(隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボートヤード(隻分)	艇庫(隻分)	浮棧橋(隻分)					固定棧橋(隻分)
互洋大船渡マリーナ 〒022-0007 大船渡市赤崎町永浜 230 ☎0192-26-2026	-	-	-	28	20	-	8	-	-	-	駐車場 修理工場	

6. 緑地

名称	区分	面積(m ²) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
						利用施設	附属施設
茶屋前緑地		14,500 (69)	-	休息緑地	昭和49年度 平成10年度 令和2年度	ミニサッカーコート1面、 テニスコート1面、ゲート ボール場1面、四阿1棟、 パーゴラ1基	便所1カ所、水飲場1カ所
みなと公園		3,500 (50)	136	休息緑地	昭和59年度 令和2年度	自由広場1面、四阿1棟	
サン・アンドレス公園		16,200 (10)	-	シンボル 緑地	平成3年度 令和2年度	展望台1基、四阿1棟、 自由広場1面	便所1カ所、水飲場1カ所

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名称	所在地	電話番号	業種				
			一般	港湾荷役			はい しか だ
				港湾 荷役 (一貫)	船 内	沿 岸	
東北汽船港運(株)	〒022-0002 大船渡市大船渡町字野々田23-10	0192-26-4181	○	○			

曳船

名称	所在地	電話番号	馬力	隻数
山和商店(有)	〒022-0002 大船渡市大船渡町字茶屋前156-4	0192-26-5121	3,100PS	1

通船

名称	所在地	電話番号	隻数
山和商店(有)	〒022-0002 大船渡市大船渡町字茶屋前156-4	0192-26-5121	2

9. 関係出先官公署

名称	所在地	電話番号
函館税関大船渡税関支署	〒022-0002 大船渡市大船渡町字赤沢17-3	0192-26-2326
仙台検疫所大船渡・気仙沼出張所	(仙台検疫所花巻空港出張所)	0198-29-6725
岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡 土木センター	〒022-8502 大船渡市猪川町字前田6-1(合同庁舎内)	0192-27-9919
大船渡市役所	〒022-8501 大船渡市盛町字津野沢15	0192-27-3111

大船渡港

